

3 事例 各教科・科目等のシラバス

シラバスの事例の概要と特徴

以下の事例は、総合教育センターなどの指導主事が、シラバス作成に関する調査研究の協力校やその他の学校現場からの意見を参考に作成しました。

事例 理科

この事例は、総合学科や単位制高校などを想定した形式です。履修ガイドと講座案内は、履修や科目選択についてのガイダンス資料として利用します。また、学習計画書は、各生徒が選択した科目だけを利用するため、やや詳しい授業の内容や進度、提出物や評価について記載しています。これらは、校内LANやインターネットを利用して校内や自宅で自由に閲覧できるようにします。

事例 芸術科

芸術科の履修は、中学校までとは異なり、音楽、美術、書道などの分野から選択します。多くの学校では、3年間を見通した選択を入学時にさせています。生徒は、興味・関心、中学校までの経験や印象などに基づいて科目を選ぶこととなります。このようなことから、学科に関わらず新入生を対象とする科目選択のためのガイドとなる資料が必要となります。理科の事例と同様に、芸術科の履修ガイドと各科目のシラバスを組み合わせ示しました。

なお、実技、鑑賞、作品制作などの一人一人の意欲や感性に働きかける活動が柱となることから、いずれの科目でも自己評価のポイントを明確にすることを心がけました。

事例 学校設定科目「科学技術A」

この事例は、栃木県立宇都宮清陵高等学校が作成したシラバスです。学校を特色付ける科目であることから、授業の活動内容がよくわかるような示し方をしています。学校設定科目のシラバスは、中学校や地域の方々への説明に用いるなど重要な役割を果たします。

事例 総合的な学習の時間「地域研究」

この事例では、「総合的な学習の時間」の実践上の課題である教科との関連や学習を通して培われる資質・能力を示し、生徒の主体的な取組を促すため、自己評価を重視した形式としています。